

健康で豊かな心を育む

市民歩け歩け大会

第44回市民歩け歩け大会は



6月7日、スポーツアリーナ
そうまをスタート地点に開催
され、市内外から参加した約
120人がウォーキングを楽しみ
ました。

当日は、3つのコースに分
かれて、涼ヶ岡八幡神社や百
尺観音などの市内の名所を経
由して歩きました。

参加者らは、深緑の季節な
らではの自然の景色を楽しみ
ながら、初夏の心地よい風を
全身に受けてコースを巡って
いました。

自然を感じて歩く

みちのく潮風トレイル

みちのく潮風トレイル
ウォークin相馬withポ
ケモンローカルActsは6
月8日、市民会館をスタート
地点に開催され、市内外から
参加した約500人がウォーキン
グを楽しみました。

市民会館で開会式が行われ
た後、参加者らは、宇多郷騎
馬会やポケモンに見送られて
元気に出発し、相馬の豊かな
自然に触れるコースを楽しん
でいました。



鮮やかなトラッ

クが集結

デコトラ野郎祭



第四回デコトラ野郎祭は6
月8日、松川浦新漁港で開催
され、多くの来場者でにぎわ
いました。

当日は、約200台のデコトラ
の展示のほか、「フラダンス
ショー」や「マダロの解体
ショー」など、さまざまな楽
しい催しが開催されました。
訪れた来場者たちは、ドラ
イバーの魂が詰まったデコト
ラの雄姿に感嘆していました。
※同イベントの収益金の一部
は、交通遺児などの支援に
資することを目的に、市に
寄付いただきました。

五穀豊穡祈る

相馬宇多郷の神楽舞

雷神社（坪田）春の例大祭
は6月15日に開かれ、市内7
地区の保存会などが神楽を奉
納しました。

春の例大祭で神楽を奉納し
たのは、御手神楽台敬神会、
黒木敬神会、松川神楽保存会、
日下石敬神会、瀧神社御手神
楽保存会、岩子神楽保存会、
涼ヶ岡八幡神社神楽保存会の
7団体。

訪れた人たちは、次々と奉
納される神楽に見入っていま
した。



相馬民謡の後継者を育成

子ども民謡教室開校式

市内の小・中学生を対象と
した子ども民謡教室の開校式
は6月12日、市民会館で開催
され、7人の児童・生徒が参
加しました。

教室は、相馬民謡の継承を
目的に、相馬民謡同好会の協
力を得て開かれる教室で、市
教育委員会の主催。

教室は、毎月第二、第四木
曜日に開かれ、生徒たちは練
習に励みます。



東日本・東北大会での活躍願う スポーツ大会出場報告

▽トランポリン



スポーツ大会出場報告は6月18日、市役所で行われ、相馬トランポリンクラブの選手13人が福地裕之教育長に東北大会出場を報告しました。

選手らは、県の推薦を受け、6月28日から青森県弘前市で開催された東北大会に出場しました。

※東北大会に出場した選手らは、それぞれ優秀な成績を納めました。

▽ソフトテニス



スポーツ大会出場報告は7月3日、市役所で行われ、東日本大会に出場する菊地花音選手と、松本倫佳選手が福地教育長に東日本大会出場を報告しました。

選手らは、7月12日から宮城県仙台市で開催される第15回東日本小学生選抜ソフトテニス大会に出場しました。

※東日本大会の結果は、菊地選手が2回戦出場、松本選手が準々決勝に出場しベスト16でした。

ホシガレイ稚魚 を放流 県水産資源研究所



県水産資源研究所は6月17日、松川浦新漁港でホシガレイの稚魚の放流を行いました。放流されたホシガレイの稚魚は、約10センチメートルまで飼育したもので、当日はトラックからホースを使って放流作業が行われ、約6,500匹の稚魚が放流されました。

また、ホシガレイの稚魚の放流後の移動や生残を明らかにするため、約80匹の稚魚に発信機を装着して放流するなど、追跡調査を実施しています。

スポーツの楽しさを伝える Challenge Forever in 相馬



Challenge Forever in 相馬は6月22日、相馬こどもドームで開かれ、市内の児童らを中心に約70人が参加しました。

ビーチバレーボール選手の西村晃一さん、元全日本バレーボール選手の佐藤あり紗さん、元SVリーグバレーボール選手の白岩蘭奈さんが、バレーボールを通して児童らと触れ合いました。



災害に備えて協力体制を強化 災害時に おける相互応援に関する協定締結式

「相馬市と君津市との災害時相互応援協定締結式」は6月30日、君津市生涯学習交流センター（千葉県）で開催され、立谷市長と石井宏子君津市長が協定書に署名しました。

立谷市長は、「協定を締結できることをうれしく思います。我々がしっかりと支援の手を結んで、お互い大切にしながら両者の関係を深めていきたいと考えています。」と協定への期待を述べました。

叙位・叙勲を伝達 鈴木則久さん

叙位・叙勲伝達式は6月26日、市役所で行われ、瑞宝双



光章の榮譽に輝いた鈴木則久さんの妻の照子さんに福地教育長から位記および勲記、勲章が手渡されました。

鈴木さんは38年間にわたり学校教育に尽力。

退職後は、市教育実践センターの市教育実践実践センターの運営基盤を築きました。

伝達を受けて照子さんは「このような章をいただき大変うれしく思います、ありがとうございます」とあいさつしました。

ブランド化で相馬の魅力をPR
「相馬ブランド」認定証交付式

「相馬ブランド」認定制度の認定証交付式は6月27日、千客万来館で開かれ、「バター最中」（合資会社松林堂）など6品目が認定を受けました。同制度は、市内の土産などに適した魅力ある加工食品を審査の上、「相馬ブランド」として認証する制度。

認定商品は、市や市観光協会、商工会議所などが協力し、市内外問わず広めていくよう働きかけます。

清夏を彩る音色
そうま音楽夢工房演奏会

そうま音楽夢工房第83回演奏会「フルート×ピアノ duo Mio*haru（ミオハル）」による名曲アルバムコンサート」は7月5日、市民会館で行われ、市民ら約70人が訪れました。

出演者は、宮城県を中心に活躍する小畑実織さん（フルート）と佐藤晴香さん（ピアノ）、グループ名の「ミオハル」はそれぞれの名前の頭文字から名づけられたもの。訪れた人たちは、清夏を彩るフルートとピアノの艶やかな音色を楽しみました。

七夕の雰囲気あふれる「七夕ロード」
さくら子ども教室

放課後子ども教室「さくら子ども教室」の七夕飾りは6月25日、桜丘小学校で開催され、約60人の児童が参加しました。

当日は、児童らによって短冊などが飾りつけられた笹竹が、同教室の活動教室に面した廊下に設置され、廊下一帯が七夕の雰囲気あふれる「さくら子ども教室七夕ロード」が完成しました。

児童らは、完成した七夕ロードに喜びの表情を浮かべるとともに、少し早い七夕の



雰囲気を楽しみました。

日本文化を楽しむ「七夕お茶会」
いそべ子ども教室

放課後子ども教室「いそべ子ども教室」の七夕お茶会は7月11日、茶道の指導をしている山口孝子さんの自宅で開催され、5人の児童が参加しました。

当日は、七夕の飾りつけや七夕にまつわる読み聞かせの後、お茶会が行われました。

参加した児童らは、笹船に盛られたお菓子を食べながら、お茶の作法を学ぶなど、七夕の楽しい時間を過ごしました。



社会を明るくする運動

▽メッセージ伝達式



令和7年度の「社会を明るくする運動」メッセージ伝達式は7月1日、市役所で行われ、関係者ら約20人が参加しました。

小畑強子相馬地区保護司会相馬支部長らが内閣総理大臣のメッセージなどを読み上げ、阿部副市長に手渡しました。

この運動は、全ての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生に理解を深め、力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動で、7月が強化月間となっています。

▽ふれあいお茶会

「社会を明るくする運動」ふれあいお茶会は7月5日、振興公社振興ビル1階ロビーで行われ、約80人の市民らが訪れました。

当日は、茶道の先生が作法に従ってお茶を振る舞ったほか、参加者自ら茶せんを使いお茶をたてる「茶道体験」が行われました。

参加した市民らは、抹茶と和菓子を楽しみながら、くつろいだ時間を過ごしていました。



▽少年サッカー大会



「社会を明るくする運動」少年サッカー大会は7月5日、相馬光陽サッカー場で行われ、市内外から11チームが参加しました。

同大会は、小学校低学年を対象に、8人制の総当たりリーグ戦で試合が行われました。

選手たちはチームの仲間とボールをつないで、試合終了のホイッスルが鳴るまで一生懸命走り、応援の保護者からは選手たちのプレーに大きな声で熱い応援を送っていました。

競技で交流 高齢者スポーツ大会

第42回市高齢者スポーツ大会は7月4日、松川浦スポーツセンター体育館で開かれ、各地区の老人クラブで編成された11チーム220人の選手が参加しました。

当日は、西部Cチームの今野覚治さんと伏見イクヨさんが力強く選手宣誓をしました。

選手らは、ダーマと呼ばれる円すい形のボールを交互に投げて得点を競う「ダーマを入れる」や「ボールリレー」など5種目の多彩な競技で熱戦を繰り広げました。



スポーツで心と体を元気に

市民スポーツ大会総合開会式

市民スポーツ大会の総合開会式は7月6日、総合福祉センターで開催され、約100人が出席しました。

市スポーツ協会の渡部卓会長のあいさつに続き、表彰が行われ、競技の振興に尽力した功労者のほか、各大会の成績優秀者や優秀指導者などに賞状が送られました。

また、スポーツ大会の出場選手を代表して、市柔道会の志賀象之助選手が宣誓をしました。

